

【小学生の部】 優秀賞

「伝統を未来へ！」

つくば市立竹園東小学校 6年 はった あきみ 八田 曉美

私は蚕が大好きだ。日本には大切な伝統がたくさんある。養蚕は、今も皇室で行われている大切な伝統行事の一つである。私の住む茨城県でも、昔は養蚕が盛んに行われていた。蚕が育ちやすい気候だったのだろう。しかし今は、蚕にとって育ちにくい気候になっているのかもしれない。そう考えたのは、猛暑が続いた三年前の夏、私の蚕が繭作りの直前に黒く変色して、十匹以上死んでしまったからだ。私の大好きなお蚕さんたちは、地球温暖化が進むとどうなるのだろう。不安に思い、地球温暖化について調べてみた。

このままでは、私たちが大人になる2050年には、平均気温が二度以上も上昇してしまうことが分かった。私の感覚では、二度くらい上がっても大した問題にはならないだろう、と思っていた。しかし二度上昇するだけでも、多くの生物が普通の生活ができなくなることを知った。例えば蚕は、三十度を超すと病気になりやすく、正常に育つことが難しくなる。養蚕が盛んだった1900年頃、地球は今ほど暑くなかったので、桑の葉の成長に合わせ、自然環境を利用しながら養蚕が行われてきた。しかし二度上昇するだけで、蚕の飼育は急に難しくなる。実際に私の蚕も、死んでしまうといった悲しい結果になった。温暖化が、大切な伝統までうばってしまう。

私たちの未来と伝統を守るために必要なこと。それは、地球温暖化の原因になる二酸化炭素を減らすことだ。そのために、今の私たちにできること。それは「プラごみを減らすこと」だと思う。できることの一つ目は、コンビニなどのプラスチックスプーンを、ごみになっても二酸化炭素を増やさないバイオマス由来の素材や木製に変えることだ。木製に変え、また国産間伐材を使えば、外国から輸入するとき船が出す二酸化炭素を減らすこともできる。二つ目は、水筒や箸を持参して繰り返し使うことだ。例えばコンビニや自動販売機などで飲み物を買うときに、タンブラーや水筒を共通で使用できるようにする。実際に私も、家族と釣りに行くときはマイ箸を持っていく。そうすることでプラごみが減り、二酸化炭素の排出量を減らしていけると思う。

地球温暖化ストップのため、これからも私はアンテナを張って地球の現状を知り、自分に何ができるのかを考え続け、行動していきたい。私の大切なお蚕さんたちのためにも。